

わらび座 ミュージカル

WARABIZA
わらび座

どんどん と山猫

原作 / 宮沢賢治

まるでなっていないようなのが、いちばんえらい。

このながでいちばんながで、めっちゃくちゃで。

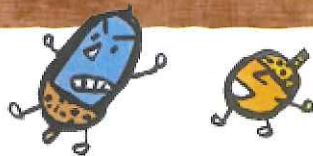
平成26年7月12日(土)
開場13:30 開演14:00 全席自由
大人1,000円 小人500円 親子1,300円
(高校生以上) (4歳以上中学生以下)
※当日券は各200円増 ※3歳以下でも座席が必要な場合はチケットが必要です
プレイガイド / みやもりホール、遠野施設管理サービス(市役所本庁舎東館)
お問合せ / 遠野施設管理サービス TEL0198-63-1144

遠野市文化交流施設
みやもりホール

主催 / とおのスポーツアート実行委員会
共催 / 株式会社遠野施設管理サービス
後援 / 遠野市、遠野市教育委員会、遠野市保育協会

この事業は
『遠野市わらすこ基金』
を活用しています

ものがたり



ある土曜日の夕方、一郎におかしな手紙が届きました。「明日めんどろな裁判をやるから来て下さい」と書いてあります。差出人は山猫。一郎に裁判の手助けをしてほしいというのです。

一郎は大喜びで、翌朝いそいそと家を出ます。栗の木や笛吹きや滝やリスに道案内をしてもらい、うつくしい黄金いろの草地につくと、黄色の陣羽織を着た山猫が待ちかまえていました。そのまわりにはたくさんのどんぐり達。頭のとがったどんぐり、大きなどんぐり、まるいどんぐり…みんな口々に自分がえらいと言って山猫の仲裁をききません。

さあ、いよいよ裁判の始まりです！

登場人物



- 一郎……………小学校4年生。山の事には詳しいけれど、学校では目立たずいつも一人ぼっち
- 山猫……………山で行われるいろいろな裁判を取り仕切る。かなりいばっている
- 馬車の別当……………人間だが山猫に仕え、馬車の別当(馬の世話)をしている
- どんぐり達……………自分が一番えらいと言われたくて、必死になっている
- 森の自然たち……………山の中で、一郎に道案内をしてくれる

スタッフ

原作／宮沢賢治

脚本・演出／小沢瞳

わらび座養成所の講師や、たざご芸術村冬の小劇場「竹取物語」脚本・演出、「夢の軍財布」脚本・演出、「走れメロス」脚本・演出などスタッフも務め、マルチな才能を発揮している。子どもミュージカルの指導も経験が豊富。

音楽／紫竹ゆうこ

わらび座で育ち、作曲を林光氏、萩京子氏に師事。パフォーマンスバンド響の作曲音楽・音楽監督を長年手がけている。そのほか、ミュージカル「山神様のおくりもの」、ミュージカル「セロ弾きのゴーシュ」、舞踊集「故郷」などの作曲も手がけている。

振付／高田綾

衣装／樋口藍

美術／宮本博司

小道具／平野忍



遠野市文化交流施設

みやもりホール

MIYAMORI HALL

〒028-0304 岩手県遠野市宮守町下宮守32-133-1

TEL.0198-67-3133 FAX.0198-67-3134



アクセス方法

列車ご利用の方…JR釜石線宮守駅より徒歩10分
車でお越しの方…国道283号線沿い宮守消防署前信号から約200m